

社会科学習指導案

単元名「戦国の世から天下統一へ」

令和5年 10月 第6学年 指導者 安達 学

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』の小学校6学年の内容（2）ア（カ）の「キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解すること。」に位置しており、多くの児童に親しみのある織田信長、豊臣秀吉の二人の人物の働きを中心に学ぶ内容である。また甘楽町の崇福寺には小幡藩主織田信雄（信長の二男）から信富に至る七代の墓があり織田家ゆかりの土地であることから、地域教材を生かし、更に児童の興味・関心を高めることができる単元だと考える。

本単元では『織田信長や豊臣秀吉は、どのように天下を統一していったのだろうか』という学習課題を設定する。また「信長と秀吉、天下統一により貢献したのはどちらだろう。」というサブテーマを設定し、「まとめる」過程においてサブテーマについての話し合い活動を取り入れる。この活動を通して自分の考えの根拠となる事柄を主体的に調べ、他の児童との話し合いを通して、社会的事象を多面的・多角的に捉えることができ、自分の考えを広げたり深めたりすることができると考えた。

2 研究との関わり

本研究は、『進んで他者との交流を重ね、自分の考えを広げ深めようとする児童の育成』を目指して「『まとめる』過程におけるサブテーマの設定と相手の考えを受け取ることを意識した交流活動を通して」というテーマで進めていく。児童は、「まとめる」過程において、自分の立場を明確にしながらサブテーマを追究し、他の児童との話し合いを通して天下統一に必要なことは何かについて考える。

（手立て1 「まとめる」過程におけるサブテーマの設定）

「『まとめる』過程におけるサブテーマの設定」とは、単元の課題とは別に、学習した内容をより深く理解するための手立てである。まとめの時間に単元の課題を解決し、それまで学んだことを更に多面的・多角的に捉えるために、どのようなことについて話し合いたいのか、話し合いのテーマを児童自身に考えさせる。それを基に全体でサブテーマを決め、自分の考えを明確にしながら根拠をもって話し合い活動に取り組めるようにしていく。

（手立て2 「相手の考えを受け取ることを意識した交流活動」）

まとめの話し合い活動ではサブテーマに対して、自分の立場を明確にして話し合う。話し合いでは、自分の考えと他の児童の考えを比較・関連付けながら行う。また、友達の考えに対して自分の意見を言えるように指示をする。友達の考えに対して共感的に聞いたり、批判的に聞いたりできるように、相手の考えを受け取るキーワードを使って交流させる。また、相手からの問い返しやアドバイスなどを通して、テーマに対しての自分の考えを再構築していく。

3 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、地図や年表、その他の資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について理解できるようにする。	・織田信長や豊臣秀吉の名は知っているが、二人がどのように天下統一を進めていったのかを理解している児童は少ない。
思考力、判断力 表現力等	・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり統合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現できるようにする。	・調べ学習などで分かったことを文章で記述したり説明したりすることができる児童は少ない。
学びに向かう力	・学習課題の解決に向けて粘り強く、主体的に追究、解決しようとする態	・歴史学習に対しての興味・関心は高く、主体的に取り組もうとする児童

人間性等	度を養う。	が多くいる。 ・他の児童と話し合うことは進んで行 うが、意見交換でとどまってしまう ことがある。
------	-------	---

4 評価規準

知識・技能	・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、地図や年表、その他の資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について理解している。
思考・判断・表現	・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり統合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 指導及び評価、ICT 活用の計画（全9時間：本時第9時）

過程	時間	<input checked="" type="checkbox"/> ねらい <input type="checkbox"/> 学習活動 <input checked="" type="checkbox"/> ICT 活用に関する事項	知	思	態	<input checked="" type="checkbox"/> 評価項目〈方法（観点）〉 <input type="checkbox"/> 指導に生かす評価 <input checked="" type="checkbox"/> 評定に用いる評価
つかむ	1 ・ 2	<input checked="" type="checkbox"/> 戦国時代に関心をもち、諸資料をもとに話し合い、学習課題を立てることができる。 <input type="checkbox"/> 天下統一に向けた動きについて、諸資料を見て、気付いたことや疑問に思ったことなどについて話し合い、学習課題を設定する。		○	○	<input checked="" type="checkbox"/> 織田信長、豊臣秀吉の働きや外国との関わりに着目して、二人の武将の天下統一に向けた活躍について問いを見いだしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈観察・タブレット（思）（態）〉
		[単元の学習課題] 織田信長や豊臣秀吉は、どのようにして天下を統一していったのだろうか。				
追究する	3	<input checked="" type="checkbox"/> 戦国の世における外国との関わりについて調べ、キリスト教が伝来したことや南蛮貿易で進んだ文化や品物が入ってくるなど日本に大きな影響を与えたことを理解することができる。 <input type="checkbox"/> この時代の日本が、外国とどのように関わっていたのかを、諸資料を基に調べる。	○			<input checked="" type="checkbox"/> キリスト教の伝来など、外国との関りが日本に様々な影響を与えたことを理解している。 〈観察・ノート（知）〉

	4	<p>■勢力拡大の様子や楽市・楽座などについて調べ、織田信長の天下統一に向けた政策を理解することができる。</p> <p>□織田信長が天下統一に向けてどのようなことを行っていったのかを諸資料を基に調べる。</p>	○			<p>◆織田信長が有力な大名を倒して天下統一を進めていったことについて理解している。</p> <p>〈観察・ノート (知)〉</p>
	5					
	6	<p>■検地や刀狩りなどについて調べ、豊臣秀吉の天下統一について理解することができる。</p> <p>□豊臣秀吉が天下統一に向けてどのようなことを行っていったのかを諸資料を基に調べる。</p>	○			<p>◆豊臣秀吉が世の中を支配する仕組みをつくって天下を統一したことについて理解している。</p> <p>〈観察・ノート (知)〉</p>
	7					
ま と め る	8	<p>■今まで学習してきたことを基に学習課題を「まとめる」ことができる。</p> <p>□二人の武将が行ってきたことを今まで学習してきたことを基に「まとめる」。</p> <p>□振り返りを通して、更に考えたいこと・話合いたいことを考える。</p>	●	○		<p>◆二人の武将が天下統一に向けて果たした役割を理解している。</p> <p>◆本單元についての学習を振り返り、学習のまとめとして更に考えたいこと話合いたいことを考えている。</p> <p>〈観察・タブレット (知) (思)〉</p>
	9 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>[単元のサブテーマ]</p> <p>「信長と秀吉、天下統一により貢献したのはどちらだろう。」</p> </div> <p>■サブテーマを設定して、話し合い、本單元で学習した内容を広げたり深めたりすることができる。</p> <p>□今まで学習してきたことを基に話し合い、自分の考えを広げたり、深めたりする。</p>			●	●

II 本時の学習

- 1 ねらい 今まで学習してきたことを基にサブテーマについて話し合うことを通して、二人の武将の天下統一に果たした役割を考え、表現することができる。

<p>主な学習活動</p> <p>予想される児童の反応〔S〕</p> <p>★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て</p> <p>○指導上の留意点</p> <p>◆評価項目(観点)</p>
--	--

<p>1 前時のふり返りを全体で確認し、本時のめあてをつかむ。 (5分)</p> <p>T : みんなはまとめとしてどんな学習をしたいと思ったのかな。</p> <p>S : 前回、話合いたいことを考えたからそれについて交流したいな。</p>	<p>○児童が主体的に学習に取り組めるようにするために、前時に出た意見から本時の話合いのサブテーマを設定する。</p> <p>○話し合いの時に意識することを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見を聴く (受け取る) ・相手の意見に対して自分の考えを伝える
<p><めあて> サブテーマ</p> <p>「信長と秀吉、天下統一により貢献したのはどちらだろうか」根拠を基に話し合おう。</p>	
<p>2 二人の武将が行ってきた政策にそれぞれ点数を付ける。 (15分)</p> <p>S : やっぱり信長が戦に火縄銃を使ったことは、その後の戦のやり方を変えたのだから大きなことだったと思う。10点だな。</p> <p>S : 何をするにもお金がかかるから、金や銀の鉱山を支配して財力を蓄えた秀吉はすごい。7点だな。</p> <p>S : 検地と刀狩をしたことで、身分が区別されて、武力で反抗されるのを防いだのだから、すごい政策だと思う。8点だな。</p>	<p>○天下統一への貢献が大きかったのはどちらの武将なのか、自分の考えを明確にするために二人の武将が行った政策に点数を付け、その合計点を基に考えさせるようにする。</p> <p>○話し合いにズレが生じないようにするために、点数をつける基準を共有する。</p> <p>(天下統一に向けて効果④の政策→10点)</p> <p>(天下統一に向けて効果④の政策→1点)</p> <p>○考えの根拠としての政策を、点数を基に伝えることができるようにする。</p>
<p>3 めあてに対しての自分の考えを明確にし、話し合いを行う。 (★タブレット) (15分)</p> <p>S : 僕はやっぱり信長だな。だって戦に火縄銃をたくさん使い始めたのはすごく大きいと思うから。</p> <p>S : 確かに、その他にも信長は、楽市・楽座を行って商業や工業を盛んにしていったね。</p> <p>S : でもさ、秀吉は金や銀の鉱山を支配して、莫大な財産を蓄えたんだから、それを言ったら秀吉の方が上だと思う。</p> <p>S : わたしは秀吉だな。検地を行って収入を確実にしたり、刀狩をして武士が世の中を支配する仕組みをつくったりしたことは大きいと思う。</p>	<p>◎他の児童の考えにふれられるようにするために、どちらの武将の働きが大きかったか、自分の考えをタブレットで共有する。</p> <p>(信長→赤、秀吉→青)</p> <p>○サブテーマについて多面的・多角的に考えられるようにするために、まずは違う意見の児童を交流し、それを踏まえて同じ意見の児童とも交流する。</p> <p>◎意見の発表にならないようにするために、相手の考えに対して、なぜそのような考えになったのか理由を問うたり、「でも」「確かに、その他にも○○なことが言えるよね」などのキーワードを使ったりして話し合うように指示をする。</p> <p>○どちらの武将の働きが大きかったのかを再考するために、他の児童の考えで参考になったことをメモしておく。</p>

4 本時のまとめとして、再度サブテーマに対しての自分の考えをタブレットに記入した後、学習の振り返りをする。

(★タブレット) (10分)

S : 最初は信長を選んでいただけ、〇〇君の意見を聞いたら秀吉の働きも大きいと思えてきたな。

S : 〇〇ちゃんはわたしと同じ秀吉だったけど、理由を聞いてみたらわたしとは違う考えで、「確かにそうだな」って思った。

○自分の考えが広がったり深まったりしたことを実感させるために、再度サブテーマについての自分の考えをタブレットで共有し、考えが変わったことや新たに気付いたことなどを発表する。

◆二人の武将が天下統一に向けて果たした役割について考え、表現している。

◆今までの学習を振り返り、めあてを追究したり解決したりしようとしている。

〈観察・ロイロノート (思) (態)〉

<振り返りの視点> ※単元の課題を意識した振り返り

「天下を統一するには、どんなことが必要だと思いますか」

S : 天下を統一するには、軍事力だけではいけないと思った。経済力や、その後どのように治めていくかなどの仕組みづくりも大切だと思った。

2 (1) 板書計画

10/11 「戦国の世から天下統一へ」

めあて

「信長と秀吉、天下統一により貢献したのはどちらだろうか」根拠を基に話し合おう。

信長と秀吉がしてきた政策に点数を付ける。

天下統一に向けて効果ⓐの政策→10点

天下統一に向けて効果ⓑの政策→1点

(例) 戦に鉄砲を多用した→8点

なぜその点数にしたのか。

☆自分の考え⇒根拠

振り返り

天下を統一するためにはどんなことが必要だと思いますか？

(2) モニター

信長

秀吉

信長

秀吉

信長

秀吉

秀吉

信長

信長

秀吉

信長

秀吉

秀吉

信長

信長